

2019年 1月25日(金)愛知県芸術劇場(公益財団法人愛知県文化振興事業団) 広報・マーケティンググループ

2 052-955-5506

<Press Release>

報道各位



音から作る映画のパフォーマンス上映 『サロメの娘/アクースモニウム』



平素より愛知県芸術劇場の活動につきまして、ご理解・ご支援賜りありがとうございます。 さて、見出しのとおりプレスリリースを送付いたします。 ご多忙中恐縮ですが、ご一読の上、ご取材等いただければ幸いです。

お問合せ

愛知県芸術劇場(公益財団法人愛知県文化振興事業団)

広報・マーケティンググループ(武石) 企画制作グループ(藤井・毛利)

〒461-8525 名古屋市東区東桜 1-13-2 ☎ 052-955-5506 Fax 052-971-5541

Mail: mkt@aaf.or.jp https://www-stage.aac.pref.aichi.jp/

音から作る映画のパフォーマンス上映 『サロメの娘/アクースモニウム』

20台以上のスピーカーを駆使した立体音響システム=「アクースモニウム」の演奏で増幅、拡張されるサウンドの饗宴。2015年東京・両国で初演され、フランス電子音楽祭FUTURA、2016年京都、2017年再び東京・原宿と、上演されるたびにヴァージョン・アップされてきた「音から作る映画」ライブの代表作が、ついに決定版で愛知初上演!

「音から作る映画」とは..?

ライブ・パフォーマンスと映画制作を行き来しながら作品を発表する、映画監督七里圭のプロジェクト。映画制作の通常のプロセスを逆転して、音(サウンドトラック)から映像へ制作するとともに、多彩な表現者とコラボレートしながら、映画という表現形式を拡張する試みに挑んでいる。2014年の開始から現在までに11作品のライブと8本の映画(長編6、短編2)を生んでいるが、今回、映画の最新作『あなたはわたしじゃない』も時期を合わせて名古屋シネマテークで上映される。



©charmpoint

アクースモニウムとは..?

電子音響音楽の空間化をリアルタイムで行うための演奏ツール。 20 台以上のスピーカーを駆使して、LR のみのステレオ音源を増幅、分散、拡張する。1974 年にフランスの作曲家フランソワ・ベイルが考案した。



©charmpoint

音楽・アクースモニウム演奏 | 檜垣智也

演出·映像 七里圭

テキスト 新柵未成

声の出演 | 青柳いづみ、sei、原マスミ、飴屋法水、山崎阿弥、山形育弘、太田真紀、さとうじゅんこ 他

公演情報

日時 | 2019年3月9日(土)18:00

3月10日(日)15:00

※開場は開演の15分前

※各回上演後にアフタートークあり

上演時間 約80分

会場 | 愛知県芸術劇場 小ホール

入場料金 | 全席自由·整理番号付 一般前売 2,500 円 当日 3,000 円 U25 1,500 円

※ U25 は公演日に 25 歳以下対象(要証明書)

※ 未就学児入場不可。託児サービスあり(3/10 のみ)

(有料・要予約) ○託児サービス トットメイト(☎0120-01-6069 (9:00~17:00))

発売日時 発売中

販売場所 | 〇愛知県芸術劇場オンラインチケットサービス https://www-stage.aac.pref.aichi.jp/gekijyo/syusai/

○愛知芸術文化センタープレイガイド(地下2階) ☎052-972-0430

○チケットぴあ ☎0570-02-9999 (P コード 134-696)

※購入方法によりチケット代金のほかに手数料が必要になる場合があります。

お問合せ| charmpoint

charmpoint7@gmail.com

主催 | charmpoint / 愛知県芸術劇場



七里圭

映画監督。1967年生まれ。早稲田大学卒。在学中から映画の現場で働き始め、約10年間の助監督経験の後、『のんきな姉さん』(2004)で劇場デビュー。その後、『マリッジリング』(2007)のような商業映画を監督する一方で、声と気配で物語をつづる異色の作品『眠り姫』(2007)を自主製作・配給。上映10年のロングランを機にサラウンドリマスター版(2016)も製作・公開。建築家と共作した『DUBHOUSE』(2012)が国際的な評価を受ける。近

年は、『To the light』シリーズ(2013~)、「音から作る映画」プロジェクト(2014~)など実験的な映画作り、映像パフォーマンスにも取り組んでいる。2017 山形国際ドキュメンタリー映画祭インターナショナル・コンペティション審査員。

http://keishichiri.com/jp/



©Reiko Kawasaki

檜垣智也

愛知県立芸術大学大学院修了。博士(芸術工学、九州大学)。ドニ・デュフール、ジョナタン・プラジェ各氏らのもとで作曲とアクースモニウムの研鑽を積む。ハーバード大学、ケルン大学、INA/GRM(仏)、Motus(仏)、Musiques&Recherches(白)、M.ar.e(伊)、佂山国際電子音楽祭、ヒルヴィ(日本)など世界中のアクースモニウムを演奏。Futura講習会講師(2005~)。Espace du son 国際空間演奏コンクール審査員(2014)。2枚の CD『Mahoroba』(2011)、『囚われた女』(2015)。大阪芸術大学客員准教授。同志社女子大学、相愛大学非常勤講師。

http://www.musicircus.net/



©charmpoint

『サロメの娘/アクースモニウム』2017年2月18日@VACANT

関連イベント

現代・音楽リレーレクチャー(第3回)

音から作る映画『サロメの娘 /アクースモニウム』について

【第1部】13:30~15:30

映画『ホッテントットエプロン-スケッチ』上映+トーク

トークゲスト:七里圭(映画監督)、越後谷卓司(愛知県美術館主任学芸員)

【第2部】17:00~19:00

アクースモニウムと『サロメの娘』について

講師:七里寺(映画監督)、檜垣智也(作曲家、大阪芸術大学客員准教授)

第1部では、七里圭が監督した愛知芸術文化センター・オリジナル映像作品の上映と、ライブ上映など音楽家とのコラボレーションについて担当学芸員とトークを行います。

第2部では、アクースモニウムについて第一人者である檜垣智也による解説と、七里がこの音響システムを用いた映画の上映を企画した経緯や「音から作る映画」の活動について紹介します。



『ホッテントットエプロン-スケッチ』

(70 分/愛知芸術文化センター・オリジナル映像作品、愛知県美術館蔵)

出演:阿久根裕子 ただてっぺい 井川耕一郎 大川高広 監督:七里圭 原案:新柵未成 音楽:侘美秀俊 人形:清水真理

隠れた場所に醜いアザを持つ少女(阿久根裕子) は、ある日、ネズミ色のフードで顔まで覆った笛吹き男を見かける。笛の音色に引き寄せられるように、彼女は森の中の一軒家に迷い込む。そこには、自分と同じアザを持つ人形がいた…。

第 19 回ヨーロピアン・メディアアート・フェスティバル招待作品 第 21 回イメージフォーラム・フェスティバル招待作品

日時 2019年 2月 3日(日) 【第1部】13:30~15:30 【第2部】17:00~19:00

会場 | アートスペース A (愛知芸術文化センター12 階)

参加費 | 無料・要申込・先着順

予約方法 | E-Mail:ws28@aaf.or.jp へ 件名:「リレーレクチャー」本文に①お名前(複数名参加の場合は代表者名)

②参加希望回 ③人数 ④ご連絡先(電話番号)を記載のうえ、お申込みください。

主催 愛知県芸術劇場

共催 愛知県美術館

助成 | 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場·音楽堂等機能強化推進事業)| 独立行政法人日本芸術文化振興会

関連イベント/映画最新作の上映

七里圭監督映画最新作

『あなたはわたしじゃない』映画上映



あの晩、私は森の中で置き去りにされた。獣のマスクをしたあの人は、私のお母さん、だったのだろうか?どことも知れぬ白い部屋で、若い女がつぶやき続ける。記憶とも空想ともつかぬ独白に、呼び出されるように現れる、囚われの人々。生き惑う男に素知らぬ振りして、女たちは踊りを止めない。母から娘へ継がれるカルマを断ち、アイデンティティのくびきから解き放たれるために。

(2018年/83分)

出演:青柳いづみ 長宗我部陽子 黒田育世 安藤朋子 川口隆夫 飴屋法水 他

上映期間 | 2019年3月16日(土)~3月22日(金)

会場 | 名古屋シネマテーク(千種区今池 1-6-13 今池スタービル 2F)

上映時間は名古屋シネマテークにお問い合わせください。

